

雪の花

—ともに在りて—

松坂桃李 芳根京子 三浦貴大 宇野祥平 沖原一生 坂東龍汰 三木理紗子 新井美羽 串田和美 矢島健一 渡辺哲 / 益岡徹 山本學 吉岡秀隆 / 役所広司

ロケ地に行ってみよう!



詳しくはWEBサイトをチェック▶



映画「雪の花 —ともに在りて—

江戸時代末期の福井藩を舞台に疫病から人々を救おうと奔走した実在の町医者、笠原良策。数年ごとに大流行し、多くの人命を奪う疱瘡(天然痘)に立ち向かう笠原良策の絶対に諦めない姿を描いた、今を生きる人々におくる感動の作品。

笠原良策って、どんな人?

笠原良策(白翁)。江戸時代末期の福井藩の町医者。漢方医学を修め、福井城下で開業。その後、蘭方医学修得を志して京都で学んでいた良策は、牛痘による疱瘡(天然痘)予防が可能であることを知り、種痘の継続に尽力し、北陸の近隣諸藩に種痘を広めた。疫病から福井の人々を救うべく、種痘の普及に尽力した人物。



ほうそう 疱瘡(天然痘)って?

疱瘡(天然痘)は紀元前より、感染力が非常に強く死に至る疫病として人々から恐れられていた。治癒した場合でも顔面に醜い痕が残るため、江戸時代には「美目定め病」と言われ、忌み嫌われていたとの記録がある。



5 大塩八幡宮

境内には小さな神社が数多くあり、見て歩くのも楽しい。疱瘡の神様が有名。
町医の良策(松坂桃李)と藩医の元沖(三浦貴大)が、蘭方医学について話しているシーンで登場。(福井県越前市国兼町22-2)



1 龍双ヶ滝

落差は約60メートルあり、平成2年に「日本の滝100選」の一つに指定される。見上げる滝は壮観の一言。オープニングで登場する滝。物語の幕開けとして、福井の美しい自然が次々映し出される。(福井県池田町東青)



2 おさごえ民家園

18世紀前後に建てられた、県内各地の豪農や庄屋などの古民家5棟のほか、土蔵や灰小屋などをそのまま移築、復元。城下で流行っていた疱瘡が発見された村。(福井県福井市月見5-4-48)



4 気比の松原

日本三大松原の一つで、約2万本近くの松が生い茂る名勝地。夏は海水浴場として開放され、海水浴客で賑わう。
良策と千穂が仲睦まじく会話する場所で使われた。(福井県敦賀市松島町)



3 名勝 養浩館庭園

福井藩主松平家の別邸だった数寄屋造りの屋敷をそなえる回遊式林泉庭園。江戸・福井藩藩邸として撮影された。(福井県福井市宝永3-11-36)



6 木ノ芽峠

旧今庄町と敦賀市を隔てる木の芽峠。新田義貞の軍勢の多くが凍死したという悲話も。良策は疱瘡が治療できる可能性のある蘭方医学を学びに、京都へ向かう。(福井県南越前町板取)



7 吉崎道 鳴谷山の切通し

鳴谷山を通いやすくするため地元の村人がわずか3か月の間に人力で切り開いた通り。良策が村人に連れられ、疱瘡が流行り始めた村へと急いで向かっているシーン。(福井県あわら市細呂木)

福井県で様々なシーンが撮影されています。撮影場所を巡って笠原良策の見た景色を体験してください。



8 武家屋敷 旧内山家

大野藩の財政再建に大きな功績を残した家老、内山良休・隆佐兄弟を輩出した内山家の屋敷。京都の蘭方医・日野鼎哉(役所広司)宅。(福井県大野市城町10-7)



9 武家屋敷 旧田村家

大野藩の家老を務めた田村又左衛門家の屋敷を解体復元した建物。診察室も兼ねている笠原宅。(福井県大野市城町7-12)



10 福井和泉スキー場

自然の地形を生かした林間コースから望む山々の雪景色が美しい。クライマックスの峠越えのシーン。撮影期間終盤で奇跡的に雪が降り、当時の壮絶な状況がよみがえる場面となった。(福井県大野市朝日前坂27)

石川県、滋賀県でも撮影されています



11 荒俣峠

大杉谷川中流に位置する景勝地で「加能八景」の一つに数えられる。良策が、蘭方医の子(吉岡秀隆)と会話するシーン。(石川県小松市赤瀬町)

12 湖岸緑地 薩摩

松の防風林が続く湖岸から見える琵琶湖の雄大な景色に圧倒される。良策が、福井と京都を往復する際に琵琶湖岸を歩くシーン。(滋賀県彦根市薩摩町)



滋賀県ロケ地



13 奥石神社

近くには安土城址や太郎坊宮などもあり、滋賀の歴史を感じられる。疫病から救われた人々が喜び合い、お祝いをするシーンはこの拝殿。(滋賀県近江八幡市安土町東老蘇1615)